【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2003-115075(P2003-115075A)
【公開日】平成15年4月18日(2003.4.18)
【出願番号】特願2001-307051(P2001-307051)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０７Ｄ　9/00
【ＦＩ】
　Ｇ０７Ｄ　9/00　４６１Ｂ
　Ｇ０７Ｄ　9/00　４２６Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月11日(2004.11.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　利用者が携帯している携帯端末から接続可能な認証番号を有する接続部と、操作の内容を表示する又は点字にて表された操作部と、制御部とを有し、前記携帯端末から前記認証番号が入力されたことに基づき、前記制御部は、前記接続部と前記携帯端末との交信を確立し、前記携帯端末からの操作を前記操作部の機能と略同機能にする制御を行なうことを特徴とする自動取引装置。
【請求項２】
　利用者が保有する取引カードに予め記憶された利用者の保有する携帯端末の認証番号を読み取るカード取扱部と、前記カード取扱部から読み出された認証番号を認識する認識部と、前記認識部で認識した認識番号への交信を確立する確立部と、前記確立部での交信確立に基づき外部からの操作を可能にする制御部とを有することを特徴とする自動取引装置。
【請求項３】
　請求項１または２記載の自動取引装置において、音声ガイダンスにより過去の取引状況を案内する案内部を有することを特徴とした自動取引装置。
【請求項４】
　請求項３記載の自動取引装置において、利用者が携帯端末より希望する件数、日付等を入力することにより、利用者が希望する情報を提供する提供部を有することを特徴とする自動取引装置。
【請求項５】
　請求項３記載の自動取引装置において、過去の取引状況を案内する音声ガイダンスにより取引状況のデータを携帯端末に転送することを特徴とする自動取引装置。
【請求項６】
　請求項１または２記載の自動取引装置において、携帯端末より入力するデータを音声変換する変換部を有することを特徴とする自動取引装置。
【請求項７】
　請求項１または２記載の自動取引装置において、携帯端末より利用者が話す音声を受信して音声認識部で認識し、送信部を介して利用者に操作内容を確認することを特徴とする自動取引装置。

【請求項８】
利用者が携帯している携帯端末から操作可能な自動取引装置において、
前記携帯端末からの発信を受信する受信部と、利用者による操作を兼ねる表示部と、制御部とを有し、
前記制御部は、前記表示部に取引種別を示す複数のボタンと共に前記携帯端末により前記自動取引装置との取引開始をするための案内を表示し、前記受信部から前記携帯端末の情報を受信することを特徴とする自動取引装置。